

# 自主貢献

あいさつは あふれる笑顔の あいことば

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nishikidai/>

横浜市立錦台中学校 学校だより

発行日 令和2年10月1日(木)

発行者 学校長 古木 喜雅

所在地 神奈川区西寺尾三丁目10番1号

電話 401-3644 FAX431-0244

## 今できることにチャレンジ

副校長 綿貫 芳人

5月1日時点、国連によると新型コロナウイルスにより188か国が休校措置を取り、15億人以上の子供たちが学校に通えなくなったそうです。全世界で子供たちの学びや生活に大きな影響を及ぼしました。それから5か月が経ち、世の中も「Go to トラベル」「Go to イート」「Go to イベント」などという言葉があふれ、新しい生活様式をベースとした「コロナと共存する生活」という考え方に傾いてきました。

学校生活のほうも少しずつ今までの活動が戻ってきました。振り返ってみると、この9月はもりだくさんのことがありました。冷房&換気の暑い教室の中での授業、防災訓練、定期試験、検診関係(歯科、内科、耳鼻科、尿検査)、教育実習、卒業アルバム撮影、各部活の秋季大会、3年スポーツ大会。ざっと挙げただけでもこんなにたくさんのことをしてきました。先生も生徒も残暑厳しい中で本当に頑張った1か月でした。

今後さらに感染拡大防止対策を考えながら、「どうすればできるのか」「何かできる方法はないのか」が大切な考え方になってくるような気がします。夏休みに、夏祭りがすべて中止になり、「なにかできないか」そして「どうすればできるか」と地域の方々が考えたものが、神之木西寺尾連合自治会主催の花火大会でした。様々な心配がありましたが、やってみると多くの人々を幸せにしました。年配と思われる女性からお電話をいただき、「遊びに来ていた孫が、とても喜んでいました。ありがとうございます」とお礼を言われました。

今年度は、体育祭が通常の形では中止になり、例年作製されているクラス旗がありません。クラス旗はクラスの団結の象徴であり、卒業式にも体育館に飾られています。そんな中、生徒会担当の先生たちが、何か替わりになるものがないか、と考え抜いたものが「ハンドタオル」です。これは単なる「記念品」ではありません。そこには、「クラスのみんなで話し合い、オリジナルのデザインを考えていく過程を大切にしたい」という思いがあります。これからクラスごとに世界に1つしかない「ハンドタオル」が出来上がっていきます。楽しみにしててください。

私たちは、常日頃「難題」を前にしたときに、できない理由を探しがちです。そうではなく、今だからこそ、できる方法を考え抜くことにエネルギーを使いたい、そんな考え方に気が付かされる今日この頃です。